

● YUKA BOND:C リペアメントの使用方法

ユカボンド・Cの混練

リペアメントは標準混練水量 $W/C = 25\% \sim 30\%$ で混練して使用し、これより水量が少ないと混練しにくく、水量が多い場合は硬化時間が遅くなりクラックの原因になりますから適度の水量で使用して下さい。

混練時の水量と気温によって硬化時間が変化しますので、ご使用時には右図を御参照下さい。

ユカボンド・C リペアメント 設計数量計算方法

各製品のモルタル比重

素地調整材……………2.3

注入材……………1.6

コート……………1.7

上記以外……………2.0

例) M-30Tで、 $3m^2$ を2mm厚みで補修する。

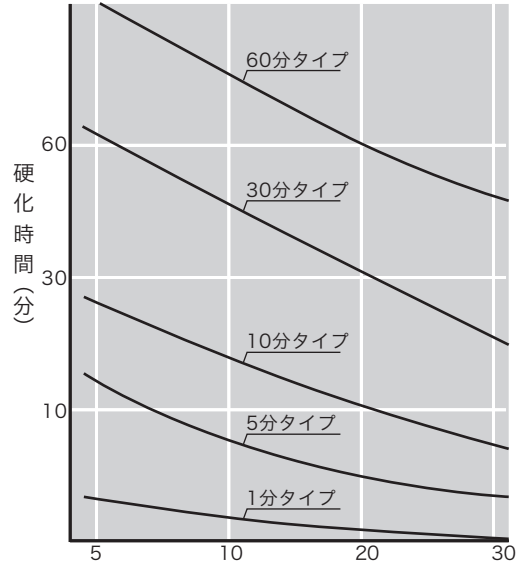
配合: M-30T:水 = 100:30

施工面積 $m^2 \times$ 厚み $mm \times$ モルタル比重 = $3 \times 2 \times 2 = 12kg$

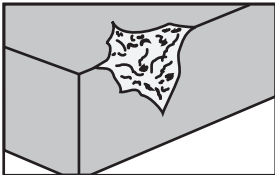
∴ M-30T 9.2kg、水 2.8kg

ユカボンド・C リペアメントの温度と硬化時間

現場の温度変化に応じた品種を選定して下さい。



使用例 比重 2.2kg 練り上がり $13 \left(\frac{ユカボンド + 水 + 立体に直す}{20kg + 6l + 2} \right)$ 温度 (°C)



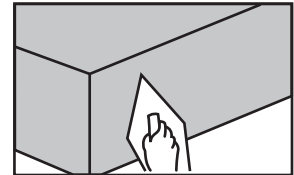
1. 補修箇所ゴミなどを取り除き充分に水しめしをします。



2. ユカボンド・C リペアメントに水を加えやや固めに練り上げます。



3. コテ、ヘラ等で多目に盛りつけをします。



4. 少し硬化したところでコテ、ヘラ等で切削仕上げして完了です。

● ユカボンド・C リペアメント の使用上の注意

- ① 普通ポルトランドセメント以上の吸湿性を有しておりますので、湿気を吸わないよう、密封して保存して下さい。また濡れた手や器具による取扱は、絶対に避けて下さい。
- ② 特殊な配合により製造してありますので、他のセメント類や砂の混合は一切しないでください、割れ、剥がれの原因になります。
- ③ 汚い水で混練して使用しますと、肌分かれなどの原因となりますので、きれいな水（水道水など）を御使用下さい。
- ④ 水と混合後の **ユカボンド・C** の増量、加水、練り殺しは行わないで下さい。割れの原因になります。
- ⑤ 水比は35%を上限としてご使用下さい。極端に水比を上げると通常の物性がでないばかりか、ひび割れの原因になります。
- ⑥ 応急処置方法
 目に入った場合……………直ちに多量の水で15分以上洗顔し、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合…………多量の水及び石鹸で付着部分を十分洗い流し、必要に応じて医師の診断を受ける。
 吸入した場合……………換気の良い場所に移して、水又は温水でうがいさせ、医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合……………水で口のなかを洗浄する。安静にし、直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は、絶対に吐かせてはならない。
- ⑦ 直射日光下や、高温の室内には置かないよう注意して下さい。